

## 聳島に移送したアホウドリのヒナの巣立ちについて

環境省自然環境局 同時発表

平成 22 年 5 月 18 日(火)  
(財)山階鳥類研究所

小笠原群島聳島におけるアホウドリの新繁殖地形成事業として、今年の2月8日に伊豆諸島鳥島から聳島までヘリコプターで移送したアホウドリのヒナ15羽のうち1羽が本日(5月18日)の午前6時37分頃、聳島の飼育サイトより巣立ちましたので、お知らせいたします。

移送したヒナ15羽は移送後約3か月間、(財)山階鳥類研究所の職員から給餌を受け、順調に成長。そのうち1羽が、本日午前6時37分頃、聳島北西端の飼育サイトより巣立ちました。今後残りのヒナについても、順に巣立っていくことが予想されます。

巣立ち後のヒナは、去年の例から北太平洋のアリューシャン列島海域まで渡っていくものと予想されます。

※この事業は、(財)山階鳥類研究所が、環境省、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施しているものです。

### ● 巣立ったヒナについて

- ・ 性別(番号) 性別：雄。カラーリング(赤地に白Y44)、金属足環13C3344。
- ・ 発信器の装着 あり

### ● これまでの経過

#### <平成20年>

- 2月19日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ10羽をヘリコプターに載せて、小笠原群島聳島まで移送。
- 5月25日 移送したヒナ全10羽が巣立ち。
- 6月30日 発信器装着個体のうち4羽がアリューシャン列島海域に到達。

#### <平成21年>

- 2月5日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽を、小笠原群島聳島まで移送。
- 5月11日 ヒナ1羽が巣立ち。
- 5月25日 移送したヒナ全15羽が巣立ち。
- 10月12日 米国カリフォルニア州サンフランシスコで確認。

#### <平成22年>

- 2月8日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽を、小笠原群島聳島まで移送。  
↓ (山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。)
- 5月18日 ヒナ1羽が巣立ち。



巣立ちの瞬間 2010年5月18日



羽ばたきの練習をする幼鳥 (5月13日)  
手前はデコイ(模型)



発信器を装着された幼鳥 (5月13日)  
右はデコイ



巣立ち間近の幼鳥 (5月13日)  
手前はデコイ



飼育サイト (5月13日)  
デコイと幼鳥が見える

※上に掲げた写真 (デジタルデータ) をご希望の方は下記までご連絡ください。

(財) 山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山 115)  
保全研究室 室長 尾崎清明 (又は広報担当 平岡考)  
電話 : 04-7187-1107、Fax : 04-7182-4342、メール : [ozaki@yamashina.or.jp](mailto:ozaki@yamashina.or.jp)